

2017年

10月28日(土)

13:00~17:00

筑波大学
東京キャンパス
文京校舎 134 講義室

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

一般公開

どなたでも参加できます

入場無料・申込不要

乾燥・半乾燥地域における砂漠化、あるいは土地の荒廃が世界的に重要な課題であるとの認識が高まる中、本学会が1990年に設立され、2年後の1992年に国連砂漠化対処条約が締結され、既に30年近くが過ぎました。この間、砂漠化防止という課題解決に向けて、研究のみならず、国際的な大規模プロジェクトからNPO、NGOによる植林活動など多様な砂漠化防止に向けた活動が行われてきました。

もとより砂漠化は単なる自然現象ではなく、社会の変容にともなう人為活動に強く影響された複合的な課題であり、必要とされる研究や技術も、その地域の自然、文化、社会に適合するかどうか、あるいは、長期的な地域の持続可能性や社会の受容性といった面からの検証が欠かせません。

本シンポジウムでは、こうした観点から、アフリカ、中央アジア、東アジアで砂漠化防止に向けた研究・実践に取り組んできた3名の方々をお招きし、これまでの取組と課題を共有し、今後の研究と実践の両面について、その方向性を議論します。

2017年日本沙漠学会秋季公開シンポジウム

砂漠化と向き合う

— 研究と実践の融合に向けて —

主催：日本沙漠学会

共催：人間文化研究機構 北東アジア地域研究推進事業 東北大学 東北アジア研究センター拠点

後援：公益財団法人 国際緑化推進センター、筑波大学

砂漠化と向き合う

— 研究と実践の融合に向けて —

13:00 開会挨拶

13:10 第1部 話題提供

田中 樹 (総合地球環境学研究所)

西アフリカ半乾燥地の脆弱環境に内在する地域ポテンシャルの発掘と活用

石田 紀郎 (NPO 法人市民環境研究所)

アラル海調査 20年と旧湖底植林の報告

山中 典和 (鳥取大学乾燥地研究センター)

中国における乾燥地緑化の現状と課題

15:20 休憩

15:40 第2部 パネルディスカッション

司会：窪田 順平 (総合地球環境学研究所)

パネラー：田中 樹、石田 紀郎、山中 典和、大塚 健司 (アジア経済研究所)、吉川 賢 (岡山大学)

16:50 総括・閉会

講演

■ 田中 樹 (総合地球環境学研究所・教授)

専門は、環境農学、地域開発論、土壌学。砂漠化対処の研究により第25回日経地球環境技術賞・優秀賞(2015)、第41回日立環境賞・環境大臣賞(2014)などを受賞。発表では、ニジェール・ブルキナファソ・セネガルの半乾燥地での農耕民や牧畜民の暮らしの向上、生業(なりわい)の安定化、地域住民や外部者との関わり、資源・生態環境の修復や保全に資するような地域に根差した実践的な技術やアプローチの事例を紹介する。

■ 石田 紀郎 (NPO 法人市民環境研究所・代表)

専門は、環境毒性学。農業を介しての水と人との関係を考えてきた。中央アジアのアラル海の消失を知り、1990年に日本カザフ研究会を結成して、環境調査を進め、報告書「中央アジア乾燥地における大規模灌漑農業の生態環境と社会経済に与える影響」1～13号を発行した。その概要は「消え行くアラル海を追いかけて」と題して、環境浄化技術誌に連載した。2006年以降、アラル海旧湖底沙漠で現地市民団体と共に植林活動を続けている。

■ 山中 典和 (鳥取大学乾燥地研究センター・センター長/教授)

専門は、森林生態学、乾燥地緑化学。中国の乾燥地植物の研究により、日本緑化工学会賞(2005)を受賞。砂漠化で荒廃した生態系の修復を目指して、中国やモンゴルの乾燥地で研究を続けている。発表では、中国黄土高原での事例を中心として、中国の砂漠化と緑化の現状について紹介する。主な著書は「黄土高原の砂漠化と対策」「Restoration and Development of Degraded Loess Plateau, China」「風に追われ水が蝕む中国の大地—緑の再生に向けた取り組み—」など。

パネリスト

■ 吉川 賢 (岡山大学名誉教授/日本沙漠学会会長)

専門は、樹木生理生態学、森林生態学、乾燥地生態学。中国の毛烏素沙地での研究により中国内蒙古自治区科学技術庁から駿馬賞(2001)、国際科学技術賞(2010)、科学技術進歩一等賞(2011)を、また、日本森林学会賞(2005)、日本沙漠学会賞(2016)、片倉もとこ賞(2016)などを受賞。さらに、著書「砂漠化防止への挑戦」(中公新書)により日刊工業新聞「技術・科学図書文化賞」優秀賞(1998)を受賞。

■ 大塚 健司 (日本貿易振興機構アジア経済研究所 新領域研究センター環境・資源研究グループ長)

専門は、環境学(ガバナンス論)、中国地域研究。1993年にアジア経済研究所に入所以来、中国の環境問題研究に従事。1997年から2年間、アジア経済研究所海外派遣員として北京大学環境科学センター(持続発展研究センター)にて客員研究員。著書に『アジアの生態危機と持続可能性—フィールドからのサステナビリティ論』『中国の水環境保全とガバナンス—太湖流域における制度構築に向けて』『流域ガバナンス—中国・日本の課題と国際協力の展望』(いずれも編著、アジア経済研究所)、『中国環境ハンドブック 2011-2012年版』(共編著、蒼蒼社)など。

お問い合わせ

日本沙漠学会事務局

Tel : 03-3551-9896 (平日 9時～17時)

Email: jaals@kyouritsu-online.co.jp

会場

筑波大学東京キャンパス 文京校舎 134 講義室

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅出口1より5分程度

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_campus.html

